

平成21年度第4回中原区区民会議運営部会会議録

日時 平成22年2月17日(水) 午後3時～午後4時35分

場所 中原区役所5階501会議室

出席者 藤枝部会長、鈴木副部会長、竹井委員、芳賀委員、藤嶋委員、・房委員
(事務局)小野寺副区長、齋藤企画課長、織裳主査、鈴木職員
(行政関係者)地域振興課：飯塚課長補佐

傍聴 なし

報道 なし

次第

1 開会

2 会議録確認委員の選任

芳賀委員を選任

3 議題

(1) 第4回中原区区民会議の運営について

事務局より、資料1に基づき「第4回区民会議の運営について」を説明

- ・ 委員の第2期の活動報告について、資料を使って報告を行いたい。(芳賀委員)
事前に事務局へ提出いただければ、区民会議の配布資料として準備できる。

次第案を了承

(2) 第2期区民会議報告書について

事務局より、資料2に基づき「第2期区民会議報告書について」を説明

- ・ 写真や表を使った見やすい資料としていきたい。(藤枝部会長)
- ・ 第1期の検討テーマの課題に対する取り組み事項の進捗状況などを報告書に加えられないか。(竹井委員)

第2期区民会議で課題を選定する際には、第1期の審議テーマを考慮したうえで課題の選定を行っている。それを踏まえ、6ページの「検討テーマの選定について」の部分で、第1期の検討テーマを掲載したらどうか。取り組みの事項の進捗状況まで載せるとページのボリュームが足りなくなる。

- ・ 報告書ではページに制限があるので、載せられない資料の対応はどのように考えていくか。(芳賀委員)

報告書に載せられなかった資料は、ホームページで公開することなどにより紹介していく。これまでも会議で使用した資料は全てホームページで紹介している。

- ・ 報告書は一般に公開するのか。(藤嶋委員)

市民報告会でも参加者の方へ配布するが、町内会・商店街の連絡協議会などの総会などの機会を捉えて積極的に配布していく。

報告書構成案を了承、原稿案を正副委員長に確認してもらい、第4回区民会議に報

告書を提出することとした。

(3) 市民報告会について

事務局より、資料3に基づき「市民報告会について」を説明

- ・ 区民会議は、これだけの会議を開催しているのに、もっと会議の認知度を向上させていくべきである。今回のような市民報告会などの機会を活かして区民会議の認知度をもっと向上させる努力が必要である。(・房委員)
- ・ 「放置自転車の取り組み」などテーマによっては区民会議の取り組みが市民に浸透している。ただし、自転車の取り組みでも駅前の商店街や町会では、熱意を持って取り組んでいるが、駅から離れた地区では関心が低いこともある。もっと区民会議の課題に対して広く関心を持ってもらえるようにならないといけない。(・房委員)
- ・ 放置自転車への取り組みは、区民会議で審議されたことや区民、行政の連携により、一昔前と比べると大きく前進してきたように思う。区民会議での審議の効果もあったと感じている。(芳賀委員)
- ・ 報告会には、委員から多くの区民に参加してもらえるように呼びかけていかないといけない。また、報告会では、できるだけ委員が中心となり運営進行を進めるべきである。テーマごとの取り組み状況の報告についても、各委員が分担して行ったらどうか。(鈴木委員)
- ・ 報告会で使用する資料やパネルは、委員の誰でもが説明できるようなものとしなないといけない。そうでないと区民の方にも伝わらない。そのような資料づくりを心掛けるべきである。(・房委員)

「市民報告会」実施概要(案)を了承、各委員をテーマの取り組みや会議での発言状況を踏まえ3つのテーマごとに分けて、次回の区民会議に提案することとした。役割分担とグループの案は下記のとおり。

藤枝委員長 あいさつ

鈴木副委員長 司会

竹井副委員長 区民会議の制度説明

1. 放置自転車のグループ

大下委員、川連委員、芳賀委員、松本委員、・房委員

2. コミュニティのグループ

杉野委員、富岡委員、内藤委員、松原委員、村山委員、山川委員

3. まちの魅力のグループ

稲富委員、佐野委員、藤嶋委員、本目委員、矢野委員、横川委員

(4) 区民会議交流会提出資料について

提出資料案について、資料4により事務局より説明

提出案を了承

(主な意見)

- ・ 区民会議交流会であるのに、委員間だけの意見交換では不十分なのではないか。参加された市民の方の意見も聞く機会を設けるべきだ。(鈴木委員)
藤枝委員長から区民会議交流会の際に、市民の方と委員との意見交換を行うべきと申し入れることとした。

午後4時35分 終了

以上要約のみ